ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

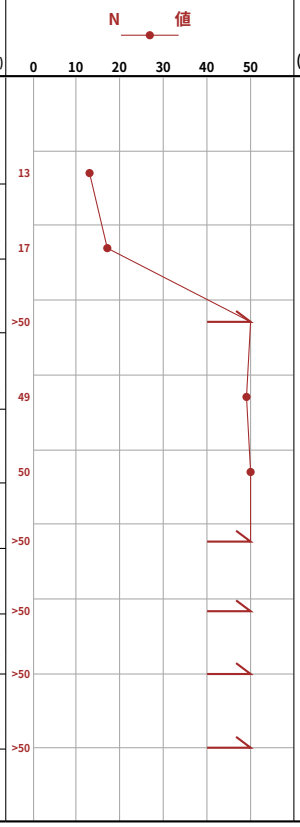
シートNO.

ボーリング名	B-1(No.3+15R-10.0m)	調査位置		北　緯	36 ° 54 ' 19.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　整備部　整備第一課	調査期間	2010-09-21 ～ 2010-09-25	東　経	140 ° 07 ' 52.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	205.67 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具
総掘進長	9.01 m								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	204.87	0.80	0.80		表土(シルト)(M)	暗褐			均質なシルト 上部0.20mまで腐植物混じる 含水量，粘性ともに中位		
1	203.17	1.70	2.50		粘土混じり砂礫(GS-C)	暗褐			崖錐性の砂礫でありφ2～40mmの角礫主体 礫間は粘土・砂により充填されている 全体にルーズな堆積状態		
3	199.37	3.80	6.30		強風化頁岩(Sh)	灰褐			[3.50]泥岩，固結粘土状を呈す [4.00]所々に頁岩を礫状又は転石状に残す [4.50]3.40～3.60m間は短柱状の頁岩を呈す [5.00]3.60m以深は粘土状～角礫状コアが主体 [5.50]5.50m以深はやや硬くなる		09/21 09/22
7	197.77	1.60	7.90		風化頁岩(Sh)	暗褐灰			岩質は風化しやや不良 概ね柱状にて採取出来るが割れ目が多くコア短い 割れ目に沿って軟質な破砕部を挟む		
8	196.66	1.11	9.01		頁岩(Sh)	暗灰			岩質は概ね新鮮である 割れ目多くコア短い コア長はL=5～10cmが主体で，最長L=30cmである		09/24 09/25

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	4	5	13／30	13
2.15	7	5	5	17／30	17
3.15	6	24	20／8	50／28	>50
4.15	9	21	19	49／30	49
5.15	12	13	25	50／30	50
6.15	18	32／8		50／18	>50
7.15	50／5			50／5	>50
8.00	50／1			50／1	>50
9.00	50／1			50／1	>50



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日